

北上川流域に飛来する冬鳥たち。

冬鳥の生息に著しい変化がないか確認するのも河川環境の状況を把握する河川パトロールの一環です。

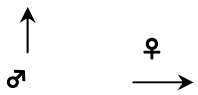
今回は、過去の調査より北上川・磐井川・遊水地それぞれに多く見られる冬鳥を紹介しますが、中には珍しい鳥もいるので見つけてみるのも楽しいかもしれません。

北上川・磐井川に多く見られる冬鳥: コガモ、マガモ、オナガガモ

コガモ



頭部の赤褐色と緑色が覆面に見える。尾にある黄色の三角が特徴。ほぼハト大でカモの仲間では最小。



マガモ

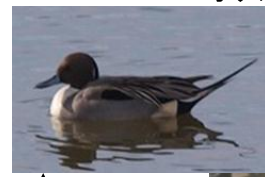


黄色の嘴、緑色の頭部。雄は首に白い輪がある。



雌は嘴が赤茶色。

オナガガモ



尾羽が2本長くのびている。



磐井川・遊水地に多く見られる冬鳥: オオハクチョウ、コハクチョウ

オオハクチョウ



嘴の先端が黒く基部の半分は黄色で尖っている。

コハクチョウ



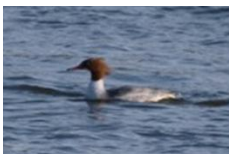
オオハクチョウよりやや小型。基部の黄色が小さく丸い嘴。

北上川に見られる冬鳥: カワアイサ、ヒドリガモ、ホオジロガモ

カワアイサ



雄は緑色の東部と赤い嘴、足が赤い。雌の頭部は栗色で赤い嘴

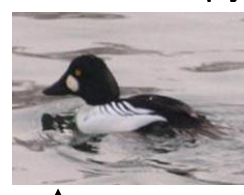


ヒドリガモ

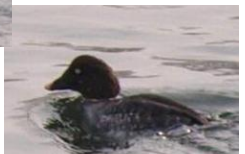


茶褐色の頭に白っぽい帯がある。頭部は白い。首と嘴が短い。

ホオジロガモ



雄、雌ともに頭の形が独特(三角形)嘴基部近くに丸い白斑がある。



今年の調査で確認された珍しい冬鳥
アメリカヒドリ、サカツラガン

アメリカヒドリ



ヒドリガモと体型は似ているが色彩が異なる。まれに飛来し、ヒドリガモの群れに混じっていることがある。

サカツラガン



体上面は茶褐色、下面は淡褐色。頬から前頸は淡白色で後面の茶褐色との境界をはっきりしている。